

市民対話ワークショップ レポート

京都未来予想図作り

～未来の自分から今の自分へのアドバイス～



京都未来予想図作り

～未来の自分から今の自分へのアドバイス～

- 開催日時: 2018年11月15日(木) 10:00～12:00
- 開催場所: 京都御池創生館 地下1階
- 参加者: 15名
 - 一般参加(まちづくりに関心のある市民など): 7名
 - 京都市職員(市民協働ファシリテーター研修受講生 など): 8名



ワークショップのねらい ~背景~

市民が自分ごとで
考えることが必要だ！！

まずは、意味を知って
もらうことから...

京都をレジリエン
トなまちにしたい

レジリエンスとは...

長い！！
分からん！！

今回のワークショップの目標

みんなが「レジリエンス」を自分ごととしてとらえる
きっかけとなる例を見つけ出す

ポイント

- みんなが共感し自分ごとで考えられるとつきやすい内容であること
- 将来を良くするための行動を含むレジリエントな内容であること

⇒ みんなが魅力的に感じる
レジリエントシティ京都の未来予想図作り

こんな京都が
いいな！！



市民の思う魅
力的なまち
はこんなまちか...



ワークショップのねらい ～問い(深めたい観点)～

京都の未来にはいろいろな不安が考えられる！

少子
高齢化

自然災
害

地球
温暖化

地域
コミュニ
ティの衰退

文化の
衰退

まち・自然
の荒廃

自分にとって一番の不安は？

不安を乗り越えた京都はみんなが魅力を感じる
レジリエントなまちになっているはず

1. 問いの共有

今日のルール, 進め方, レジリエンスについて説明

2. 危機について共有

「20年後の京都のまちであなたが不安なこととは何？」をテーマに, 参加者に色々な危機について認識してもらうとともに, みんなの考えを共有。

3. チーム作り

「一番不安に思ったことは？」というテーマで自分の考えを記述する。
書いた内容を基に一緒に活動する仲間を探す。

4. チームで考える

「その不安を乗り越えるために何ができる？」というテーマについて,
チームで話し合う。

5. 未来予想図を作成

チームで話し合った結果をまとめる。



「やめる」勇気「変える」勇気

このままでは負担が多くて町内会が衰退，人と人の繋がりが薄れ，新たに人と知り合う機会も少ないまちになってしまう。そこで，町内会の活動について「やめる」「変える」話し合いをすることや，行政による町内会のPR，教育機関のサポートやあいさつ運動により，人と人の関わりを強くし，新たな関わりも積極的に作ることができた。結果，相談できる人が身近にいて，新しく来た人にもオープンな，まちに関わる人が納得して手伝えるまちになった。

セルフタウン京都～足りない部分は支えあうまち～

このままでは地域の繋がりが薄く，自分ごとで考えることができずに危機意識の低いまちになってしまう。そこで，リスクを知る機会や発信する機会を作りリスクを共有，自分と地域，行政でできることとできないことをしっかりと整理，分担して足りない部分は協力，共有することで補い合う体制を作った。結果，自分と地域，行政が柔軟につながりあったまちになり，多くの問題に対処できるようになった。

地球の未来に響くまちジオスマート京都

このままでは地域の中で共有，協力する体制が無くみんながバラバラの方向を向いているまちになってしまう。そこで，SGDsをベースにした共通の目標を持ち，京都の今ある良い文化を発信したり，外国の良いモデルや京都の成功したモデルを発信していくことで，みんなが同じ方向を見て進めるようになった。結果，京都の良いイメージを世界に発信することで誇りをもてるまちになることができた。

「やめる」勇気「変える」勇気

- 地域の繋がりを強くする
- 既存の枠組みだけでなく、より多様な立場の人も含めて「やめる」「変える」話し合いをする
- みんなが納得して協力できるまち
- 行政や教育機関などまちに関わるみんなのサポート

セルフタウン京都～足りない部分は支えあうまち～

- まち全体が助け合い、繋がらうまち
- 危機意識をみんなで共有する
- まちのみんなと話し合うことで役割分担をしっかりと決める。
(危機に対応するシステムづくり?)
- 各自やれることをやった上で、必要なところは協力する。

地球の未来に響くまちジオスマート京都

- みんなが進む方向性を共有する、目標の共有
- SGD_sをベースにして考える
- まちのいいものをお互いに紹介しあい、共有する
- まちのいいものを世界に紹介する

・まちのみんなで協力しあう繋がりの強いまち

みんなの不安

地域の繋がりがなくて話す人がいない

危機意識が共有できてない

みんなばらばらのことを考えてる



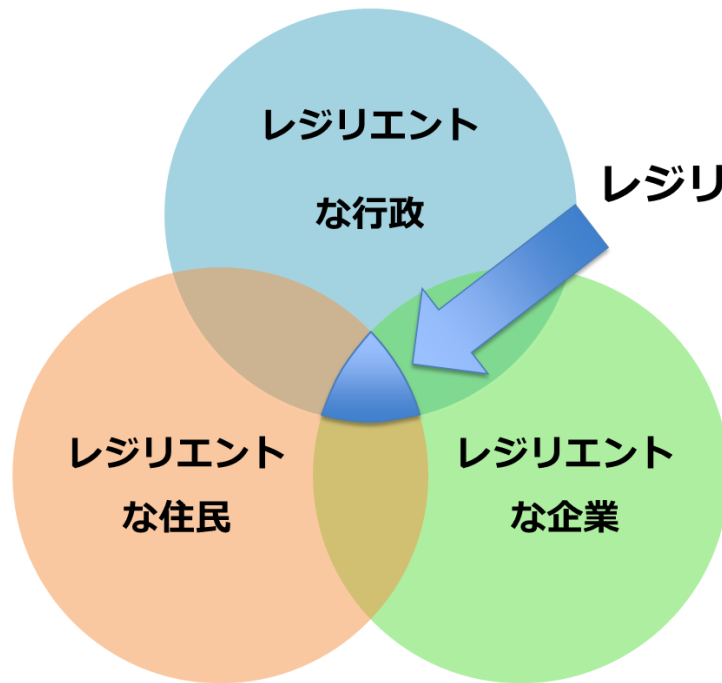
解決するアイデア

繋がりを維持するため「やめる」「変える」話し合いをする

危機意識を共有して、それぞれの役割分担を話し合う

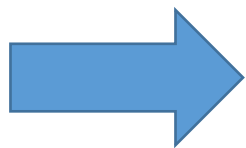
目標を共有する





レジリエントなまちには
みんなの協力が必要

一番大きい不安は協力しあえていない現状



レジリエントでない現状が一番の不安？
なんとなく現状が問題だと感じている。

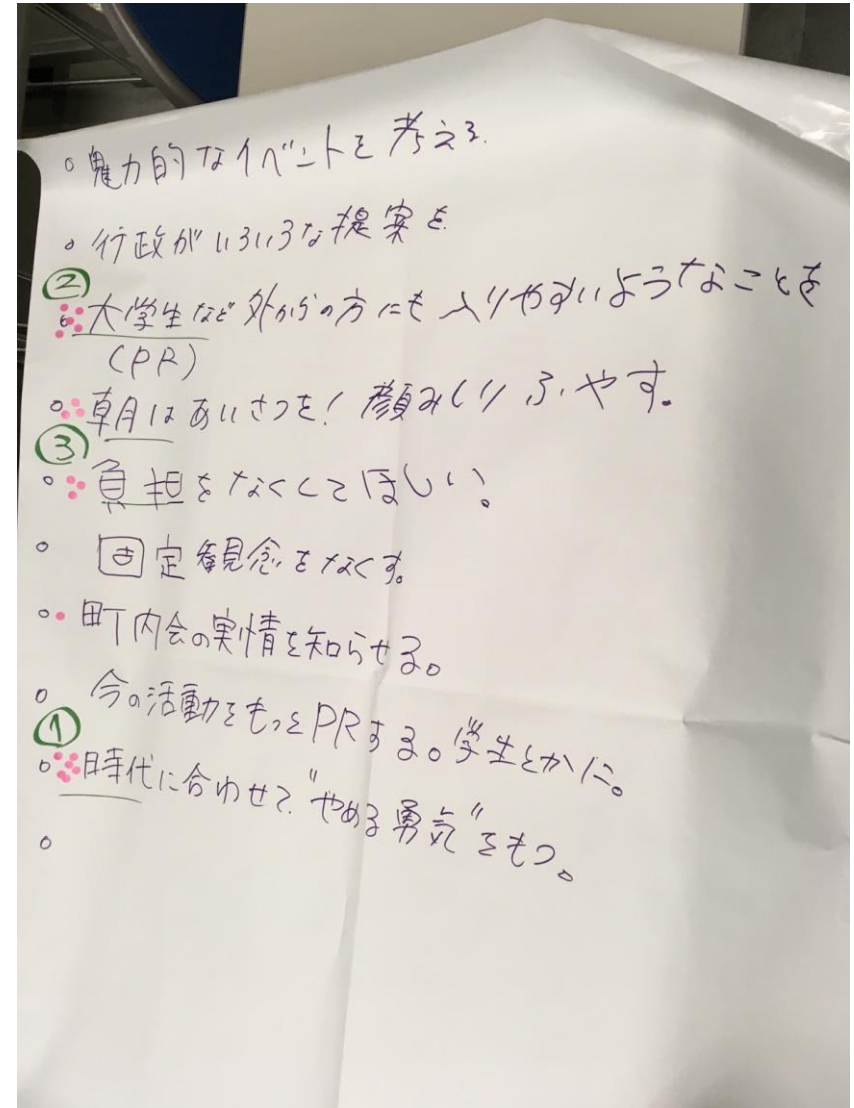
フューチャーセッションの皆さま，
所管課， 討論参加者，
事務方の皆さま，
本当にありがとうございました。



不安: 人と人の繋がりが固定化, 希薄化

不安を乗り越える行動

- 魅力的なイベントを考える
- 行政がいろいろな提案を
- 大学生など外からの方にも入りやすいようなことを
- 朝は挨拶を! 顔見知りをふやす
- 負担をなくしてほしい
- 固定概念をなくす
- 町内会の実情を知らせる
- 今の活動をもっとPRする。学生とかに。
- 時代に合わせて“やめる勇気”をもつ。



不安: 人と人の繋がりが固定化, 希薄化

まちのキャッチフレーズ

「やめる」勇気「変える」勇気

まちの良いところ

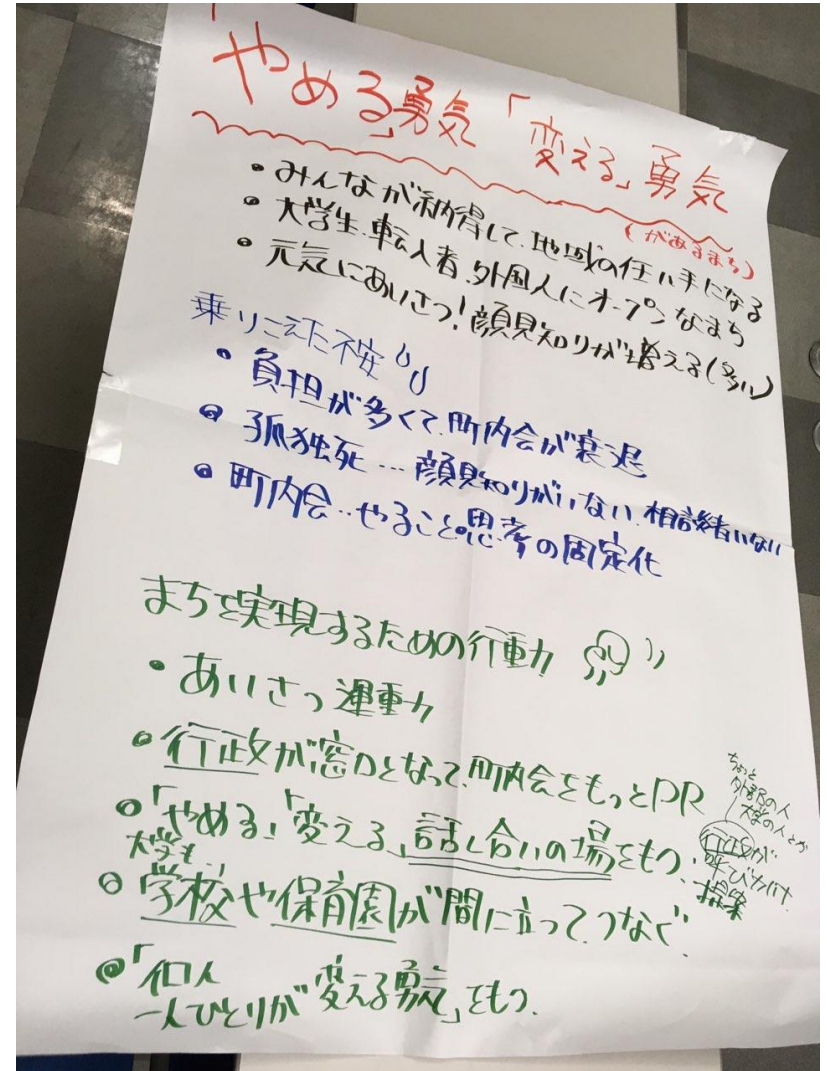
- みんなが納得して地域の担い手になる
- 大学生, 転入者, 外国人にオープンなまち
- 元気にあいさつ! 顔見知りが増える(多い)

乗り越えた不安

- 負担が多くて町内会が衰退
- 孤独死... 顔見知りがいない, 相談者いない
- 町内会... やることの思考の固定化

まちを実現するための行動

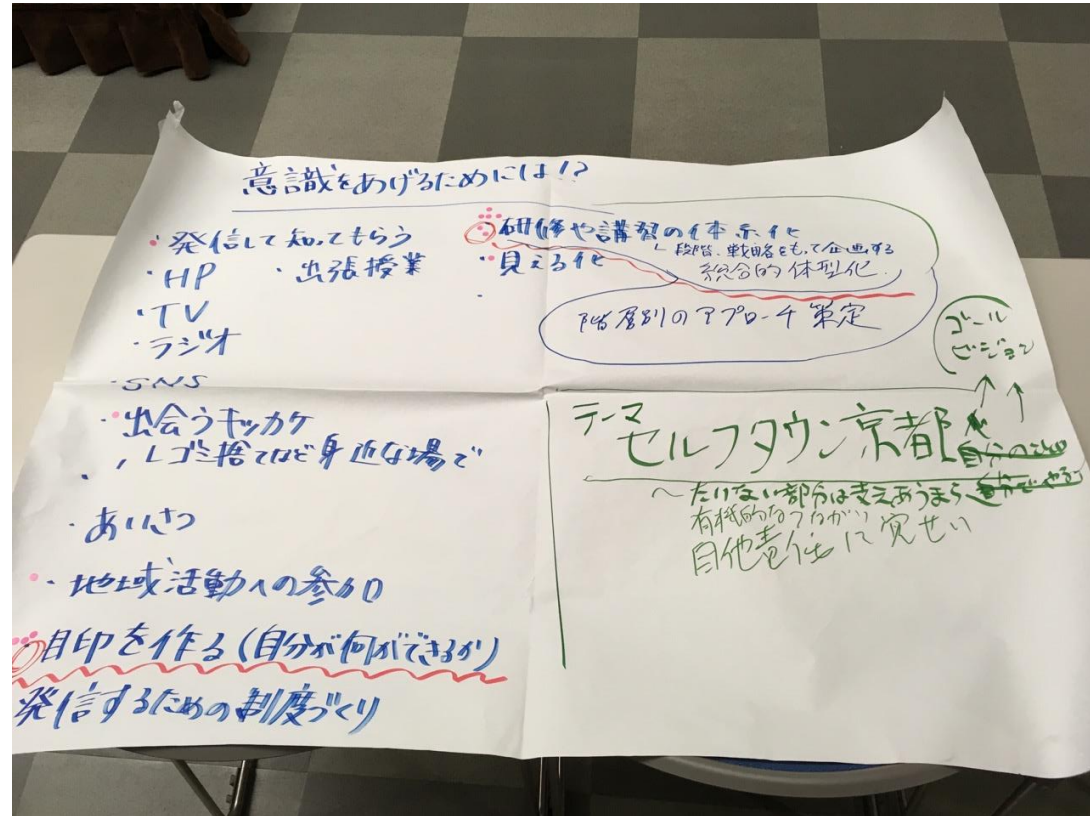
- あいさつ運動
- 行政が窓口となって, 町内会をもっとPR
- 「やめる」「変える」話し合いの場をもつ
- 学校や保育園が間に立って繋ぐ
- 一人ひとりが変える勇気をもつ



不安:危機意識の低さ

不安を乗り越える行動

- 発信して知ってもらう
(HP, TV, ラジオ, SNS, 出張授業)
- 出会うきっかけ
ゴミ捨てなど身近な場で
- あいさつ
- 地域活動への参加
- 目印を作る(自分に何が出来るか)
- 発信するための制度づくり
- 研修や講師の体系化
段階, 戦力を持って企画する
総合的体系化
階層別のアプローチ策定
- 見える化



不安: 危機意識の低さ

まちのキャッチフレーズ

セルフタウン京都

～足りない部分は支えあうまち～

まちの良いところ

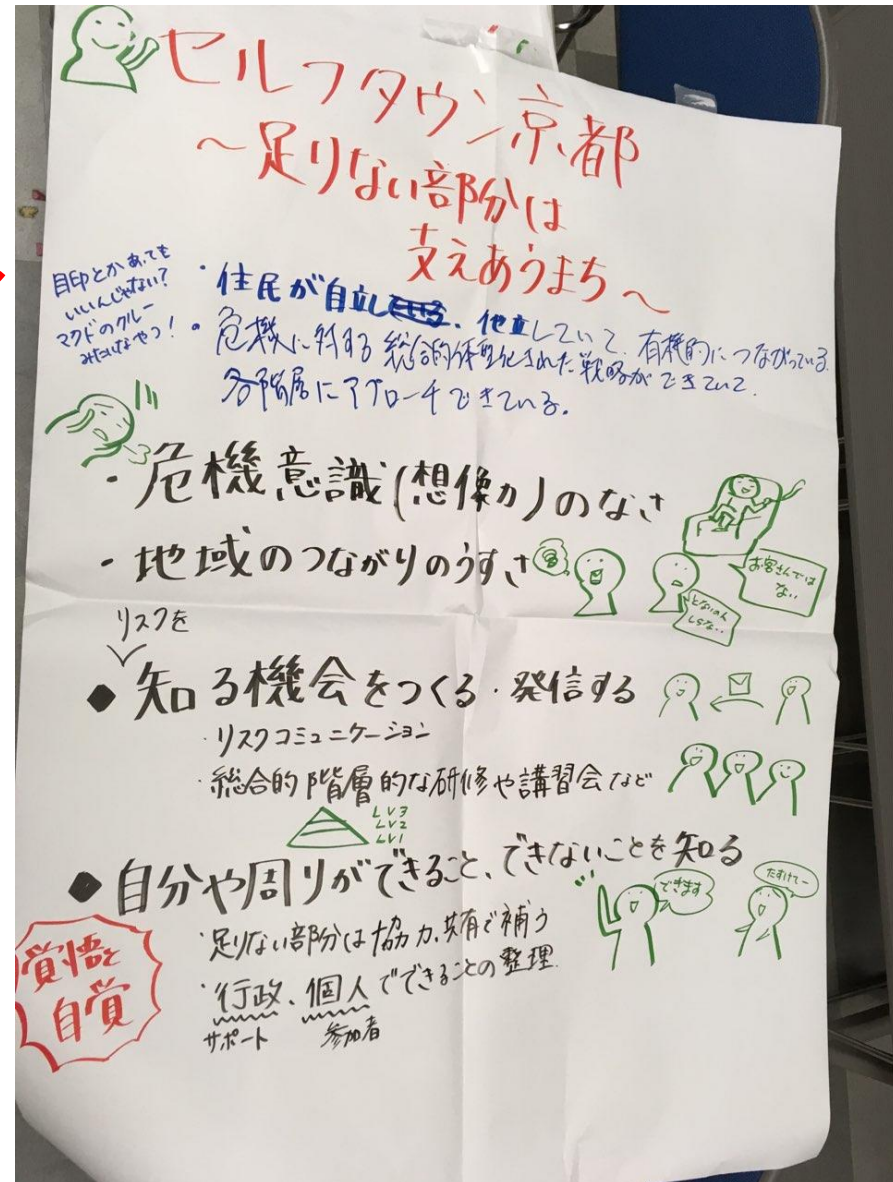
- ・ 住民が自立, 他立していて, 有機的に繋がっている
- ・ 危機に対する総合的体系化された戦略ができているので各階層にアプローチできる

乗り越えた不安

- ・ 危機意識(想像力)のなさ
- ・ 地域の繋がりの薄さ

まちを実現するための行動

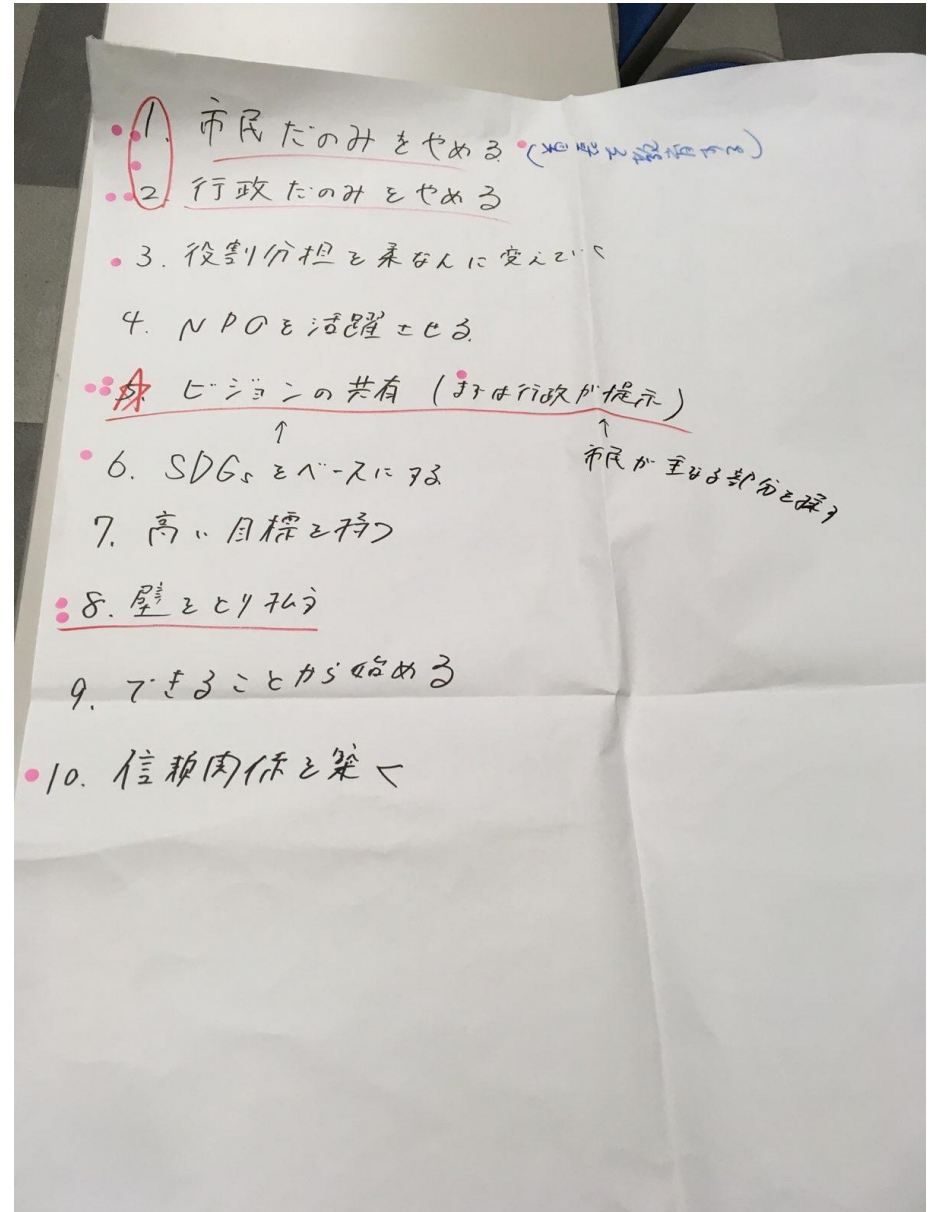
- ・ リスクを知る機会をつくる, 発信する
リスクコミュニケーション
総合的階層的な研修や講習会など
- ・ 自分や周りができること, できないことを知る
足りない部分は協力, 共有で補う
行政, 個人で出来ることの整理



不安: 協力体制の欠如

不安を乗り越える行動

- 市民頼みをやめる
- 行政頼みをやめる
- 役割分担を柔軟に変えていく
- NPOを活躍させる
- ビジョンの共有
(まずは行政が提示)
- SDGsをベースにする
- 高い目標を持つ
- 壁を取り払う
- できることから始める
- 信頼関係を築く



不安: 協力体制の欠如

まちのキャッチフレーズ

地球の未来に響くまち
ジオスマート京都

まちの良いところ

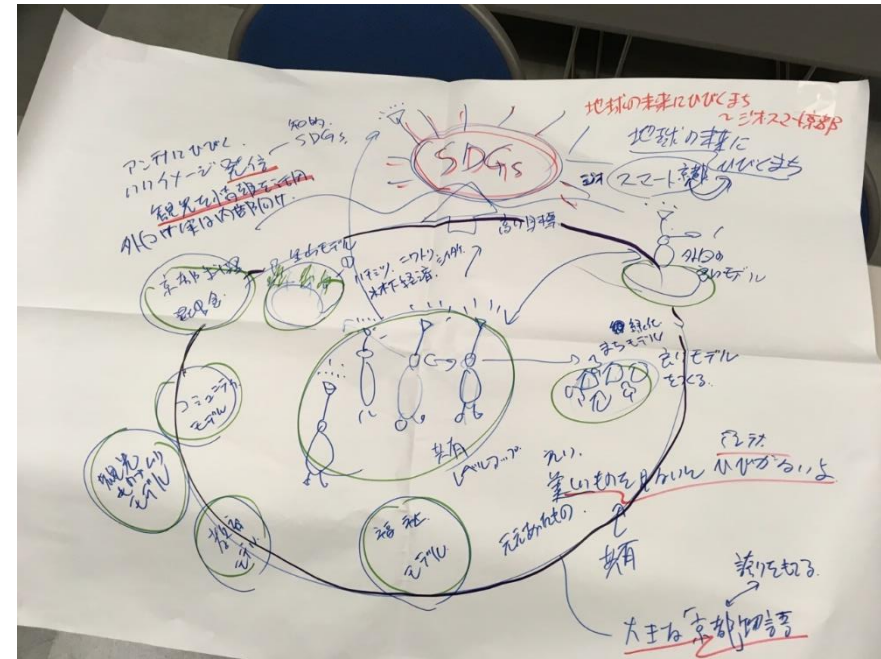
- 良いイメージを発信
- まちに誇りを持てる

乗り越えた不安

- 共有する体制がない
- 協力する体制がない

まちを実現するための行動

- 観光, 情報を活用
- 外国の良いモデルを参考にする
- 京都市の今ある良い文化を発信する
- SDGsをベースに共通の目標をもつ





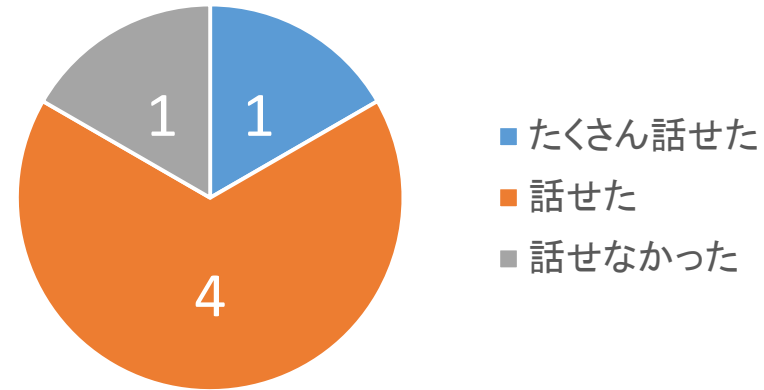
アウトプット詳細

アンケート結果

自分のアイデアや意見を話すことができましたか？

フリーフォーム

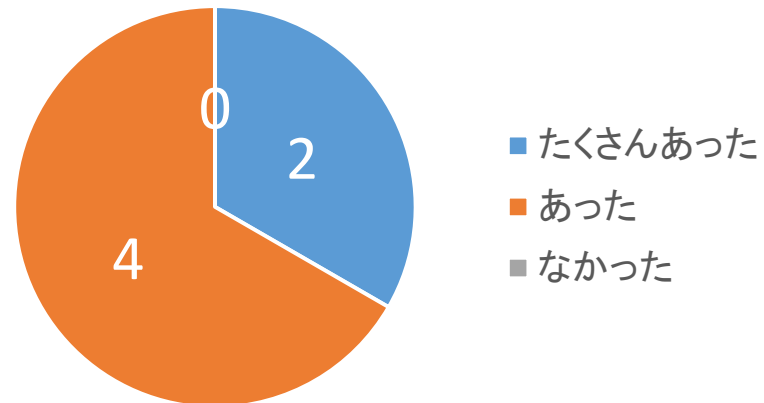
- 一部の人がグループワークでずっとしゃべっていた。ファシリテーターの補助がもっとほしかった。
- もう少し話せる時間があればよかった。こなししていくものが多かったかも。



新しい気づきや発見はありましたか

フリーフォーム

- レジリエントの意味とか
- レジリエントの図が分かり易かった



アンケート結果

内容や進行について改善すべき点や感想など自由にお書きください。

- みんなよくやりました。
- 司会の人盛り上げ方が良かった
- たけによん=レジエンス！！
- (たけによんが)プロジェクターの前に立つと見えない

レジリエンスの考え方を広めるために何をすればいい？

- 自分の実践研究をより充実させ、社会貢献度も高めていきたい。
- レジリエンスは技術のみではなく強いモチベーションを養うことかと思えます。
それは立ち直るとい希望といってもいいでしょう
- 数種類の日本語で言い換えを用意して、
「まず近づいてもらう」
「多様な意味を含むことを知ってもらう」
「あ、それなら自分でもわかる！と思ってもらう」
- 子供たちにもわかりやすく伝えるために竹=たけによん(レジリエンス?)を使いた
いと思いました。
- まずレジリエンスの意味が一般人にはわからない。もっとわかりやすい言葉を作っ
た方が良い。
- 戦略的に仕掛けていく、戦略的にリスコミ、研修などで、目的、到達目標、受講歴の
管理などを行う